

編集後記

—この2年間、どうでしたか？

編集幹事：編集幹事を2年間担当させていただきました。慣れるまではバタバタしました。編集長と違い気遣い不要と気付いてからいろいろな人とやりとりできることを楽しみにしていました。人格を使い分け、任務遂行のために適宜判断というトレーニングをさせていただいたと考えています。

—それなりに楽しまれたんですね？

編集幹事：はい。論文にもストーリーがあるようにこの編集後記にも途中からそれが生まれました。同僚の地質学者が登場するようになったでしょ。

地質学者：「遊・星・人」の存在を知りました。惑星科学者が主張する「惑星地質学」に興味が生まれました。

—最近の地球惑星科学についてつぶやきありますか？

地質学者：地質業界しか知りませんが、秩序レス・モラルレスが深刻でしょうか。ビシッとした先生がいたところは目に見えない秩序があった気がします。ポストクミみたいな感覚の大人が増えた気がします。「断片化」も問題ですね。

—「はやぶさ」盛り上がってますね。惑星探査について何か？

地質学者：小惑星でルートマップ書いて、真面目に地質図作りましょうよ。

編集幹事：僕も三朝層群の火山岩のサンプリングで感覚鍛えました。ローパーには負けない。

—三朝はどうですか？

地質学者：「ダイナミック」で「ドラマティック」、そして「エキセントリック」かつ「エクストリーム」かな。楽しいですよ。道端の小石を手にとってこれからどうやったらバルク地球が推定できるのか真面目に考えるようになりました。

編集幹事：走ってよし、浸かってよしです。

—読者にメッセージはありますか？

編集幹事：編集作業を通じて、世代を問わずコミュニケーションが電子メールに偏重している、という印象を受けました。電子メールで書けないことを電話なら伝えられます。また電話ではできない攻撃的な表現が電子メールでは可能です。コミュニケーションには不確実性が伴いますが、もやもやした状況から前に進むためにはインターアクションは避けられないと思います。最後に、編集後記の監修に協力戴いた惑星野外地質学者・辻森博士に感謝いたします。

編集委員

田中 秀和 [編集長] 橘省吾[ゲスト・エディター] 国広 卓也 [編集幹事]

はしもと じょーじ、倉本 圭、渡部 潤一、生駒 大洋、山本 聡、奥地 拓生、秋山 演亮、小高 正嗣、渡部 直樹、城野 信一、小久保 英一郎、杉田 精司、白石 浩章、木村 勇氣、岡崎 隆司、和田 浩二、本田 親寿

2010年12月25日発行

日本惑星科学会誌 遊・星・人 第19巻 第4号

定 価 一部 1,750円(送料含む)

編集人 田中 秀和(日本惑星科学会編集専門委員会委員長)

〒060-0819 札幌市北区北19条西8丁目 北海道大学低温科学研究所

印刷所 〒501-0476 岐阜県本巣市海老A&A日本印刷株式会社

発行所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-18-14赤坂STビル2階

株式会社イーサイド登録センター内日本惑星科学会

e-mail : staff@wakusei.jp

TEL : 03-3585-8161/FAX : 03-3585-8162

(連絡はできる限り電子メールをお使いいただきますようご協力お願いいたします)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は日本惑星科学会が所有しています。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を個人的な使用の目的以外で複写したい方は、著作権者から複写等の行使の依託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接日本惑星科学会へご連絡下さい。

〒 107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル学術著作権協会

TEL : 03-3475-5618, Fax : 03-3475-5619

E-mail : kammori@msh.biglobe.ne.jp